

# ひかり だより

発行 社会福祉法人 牧人会  
児童発達支援センター  
山形ひかり学園

〒999-3103  
山形県上山市金谷金ヶ瀬1111  
TEL (023)672-2377  
FAX (023)672-2378

E-mail [yamahika@minos.ocn.ne.jp](mailto:yamahika@minos.ocn.ne.jp)  
URL <http://www.makibito.com>

## 保育所等訪問支援事業だより 幼稚園・保育園との併用を考える

ひかり学園を利用されているお子さんの中で、幼稚園や保育園を併用をされている方は約半数ですが、より多くの刺激を受けさせたいという思いなどから、これから大きな集団へ入れてみたいとお考えになっているご家庭もあるのではないのでしょうか。

そこで今回は、ステップアップ（幼稚園や保育園との併用）を考える時期について、少しお話したいと思います。



保育所等訪問支援のため幼稚園や保育園にお伺いし、子ども達と一緒に活動をしていると、「こんなことができていると大きな集団にも適応しやすい。」というポイントが見えてきました。

- ①身の回りのことがある程度一人ができる。  
(特に排泄や着脱など)
- ②先生の指示が理解できたり、お友達がやっている事を見よう見真似でできる。(やっている事に興味がある)
- ③自分の意志を伝えることができる。(表現できる)
- ④飛び出しがない。
- ⑤ある程度椅子に座っている事ができる。

その他にも、お友達との関係で叩いたり突き飛ばしたりなどが頻繁にあると、幼稚園や保育園では敬遠されてしまうようです。

(児童発達支援センターなどと比べ、幼稚園保育園は園児に対する職員の配置数が少ないため、全体の安全の事を考えると仕方ないことかもしれません。)



幼稚園や保育園との併用で上手く適応できれば、興味の幅が広がり、言葉がどんどん増えてぐっと成長するということもありますが、逆に大きな集団がストレスになったり、みんなと同じことができないということで劣等感を持ってしまい、登園を渋るようになるケースもあります。メリットとデメリットがあるという事を頭に置き、お子さんの状態を良く見極めてステップアップを進めていくことが重要です。

## 親の会主催 研修会

9月12日に親の会主催の研修会が行われました。今回は、特定非営利活動法人あゆむの色摩和幸先生をお迎えし、「就学をどうとらえる」というテーマでご講義をいただきました。

色摩先生は、長年特別支援教育に関わられており、その豊かな経験の中から①「就学」を考えるスタンス、②「就学」を選択する視点、③「就学」を活かす、④「就学」につなげるひと手間というポイントで、大変具体的はお話をして下さり、親のプライドのために学校を選ぶのではなく、子供の成長にプライドを持つことが大切という言葉が印象的でした。参加した保護者のみなさんも、それぞれのお子さんの事をイメージしながら耳を傾けておられ、また違った視点で就学の事を考えることができたようでした。

保護者の方からのご感想です。ありがとうございました。

今回の研修では具体的な例をあげて下さり、とても分かりやすかったです。子供が就学した姿が目に見えようでした。「子供の成長にプライドをもて」という言葉がこれからの育児を後押ししてくれそうです。



良い環境でないと伸びていかないというのは本当にその通りだと思い、どこがその子にとって良い環境なのか、決めるのは難しいし責任の重いことだと思いました。学校教育に合わない子の受け皿もあってくれたら、もっと伸びる子もいるのでは・・・、と思ったりもしました。親がそこを作ってやらないといけないですね。





